

成田市自然観察会

冬鳥の観察

谷 優（成田市）

日時：2022年12月18日（日）10時～12時 天候：晴れ

場所：坂田が池総合公園

参加者：29名（大人21名、子ども8名） 成田市環境課職員2名

担当指導員：坂本、阪上、井上、伊藤、谷

夜に降っていた雨もあがり、観察会が始まる頃には青空が広がり、絶好の観察会日和となりました。

坂田が池にはたくさんの冬の渡り鳥が見られました。そして、種類ごとに団体でいます。まず目についたのはカルガモとオオバン、そしてホシハジロの群れ。オオバンは時には陸に上がって草をついばむこともあり、参加者は興味深く見ていました。

梅林に行くと、普段は顔を見せてくれるジョウビタキが今日はいません。残念！時折、メジロ、シジュウカラがいましたが、それも単独。どうも今日は木の上の小鳥は少ないようです。そのかわり、トビやノスリが大空を優雅に舞う姿を見せてくれました。

次に池に浮く浮き橋へ。ここはすぐ近くまで鳥が近づいてきてくれました。参加者は、双眼鏡がなくても目の前でたくさんのカモを見ることができ、大満足。マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、オナガガモ、オオバンと多くのカモが顔を見せてくれましたがこれには訳が。ここでパンくずなどの餌やりをする人がいて、水鳥やコイがえさを目当てに集まってくるのです。

池のそばの遊歩道を行くと、カワウが木に停まっていました。「カワセミがいる！」という声も。しかし、みんなで確認することはできません。

そこから台の上に上がり、広い芝生で鳥を探しましたが、あまり鳥は見られませんでした。

参加者の中には、鳥をよく知っている方もいて、「ジョウビ」や「ヒヨ」と省略して呼んでいる方もいましたが、正しい鳥の名前で呼ぶように一言注意する場面もありました。

参加者からは

- ・カモだけでこんなにたくさんの種類がいて、驚きました。
- ・またゆっくりと自分の目で鳥を見てみたいです。
- ・鳥のえさになる木の実と鳥の関係がわかり、勉強になりました。

とみなさん、観察会を楽しんでくださったようです。

観察会に参加したある女の子は、鳥の剥製を

見てから鳥が好きになり、今鳥にはまっているそうです。保護者の方から、指導員になるにはどうすればいいんですか、という質問も。将来は自然観察指導員になってくれるかな？また、自然に興味があり、来年の自然観察指導員の研修会について聞いてくる方もいて、頼もしく感じました。



カモの観察